

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月25日

上場会社名 株式会社カインス 上場取引所 東  
 コード番号 4556 URL http://www.kainos.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司 TEL 03-3816-4123  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,091	△7.4	87	△55.8	89	△55.6	43	△68.1
2019年3月期第1四半期	1,178	19.5	198	149.6	201	115.7	137	134.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.18	—
2019年3月期第1四半期	32.98	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,226	4,049	65.0
2019年3月期	5,858	3,635	62.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,049百万円 2019年3月期 3,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—				
2020年3月期 (予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,400	6.4	250	△18.6	250	△23.0	180	△18.0	48.79
通期	5,000	7.0	550	△5.4	550	△7.8	380	△1.5	103.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,558,860株	2019年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	379,656株	2019年3月期	869,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	3,934,204株	2019年3月期1Q	3,915,752株

(注)期末自己株式には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期1Q 278,000株、2019年3月期 278,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期1Q 278,000株、2019年3月期 278,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、底堅い個人消費などが内需を支える一方で、米中間の貿易摩擦による海外リスクによる経済減速の懸念など楽観視できない状況で推移しました。

臨床検査薬業界では、市場規模は横ばいから微増で推移するも、人口減少や医療費抑制政策の影響が予測されるなか、企業買収や資本提携による再編が進行しております。

このような環境の下、当第1四半期累計期間における売上高は、10億9千1百万円（前年同期比7.4%減）となりました。検査分野別で見ると、生化学検査分野は、カルニチン及び主力の腎機能検査試薬などが堅調に推移し、5億6千3百万円（前年同期比7.1%増）、免疫検査分野は、輸血検査試薬などの製品が堅調に推移した一方、アレルギー診断薬などの商品の販売終了により4億9千7百万円（前年同期比20.1%減）となりました。また、その他の分野におきましては、3千万円（前年同期比2.6%増）となりました。営業利益は、8千7百万円（前年同期比55.8%減）、経常利益は、8千9百万円（前年同期比55.6%減）、四半期純利益は、4千3百万円（前年同期比68.1%減）となりました。

### 検査分野別売上高

（単位：千円）

		前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	509,645	43.3	541,734	49.6
	免疫血清学的検査用試薬	309,626	26.3	307,411	28.2
	その他	28,717	2.4	29,838	2.7
	計	847,989	72.0	878,984	80.5
商 品	生化学的検査用試薬	15,818	1.3	21,272	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	313,648	26.6	190,552	17.5
	その他	873	0.1	533	0.0
	計	330,340	28.0	212,357	19.5
合 計	生化学的検査用試薬	525,464	44.6	563,006	51.6
	免疫血清学的検査用試薬	623,275	52.9	497,963	45.6
	その他	29,590	2.5	30,372	2.8
	計	1,178,330	100.0	1,091,342	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の額は、62億2千6百万円となり、前事業年度末と比べ3億6千8百万円の増加となりました。流動資産は32億7千6百万円となり、前事業年度末と比べ4億4千6百万円の増加となりました。その主な要因は、たな卸資産が6千4百万円、受取手形が3千万円減少したものの、自己株式の売却により現金及び預金が5億5千5百万円増加したことによります。固定資産は29億5千万円となり、前事業年度末と比べ7千7百万円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金資産が4千2百万円、減価償却費の進捗により3千3百万円が減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における負債の額は、21億7千7百万円となり、前事業年度末と比べ4千5百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形3千6百万円、短期借入金9千万円、預り金5千4百万円、リース債務7千1百万円が増加したものの、未払金が7千2百万円、未払費用が7千4百万円、未払法人税等9千5百万円、賞与引当金5千4百万円減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における純資産の額は、40億4千9百万円となり、前事業年度末と比べ4億1千3百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金5千9百万円を支払った一方、自己株式の売却により4億3千5百万円、四半期純利益の計上4千3百万円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療業界では、医療費の増加と共に少子高齢化の進行や人口減少に伴う労働力の減少を背景に、医療制度の改革が進められており、当臨床検査薬業界におきましても、継続的な医療費抑制政策などにより、市場環境は厳しさを増していくものと思われまます。

当社におきましては、総／遊離カルニチン測定やADAMTS13活性測定の医療現場への浸透をはじめ、多項目キャリアプレート「マルチ9」を活用した腎機能・肝機能検査試薬を中心とする生化学検査試薬、並びに全自動輸血検査機器「Erytra Eflexis」をはじめとした輸血検査関連製品（ゲルカラム用全自動及び半自動輸血検査装置並びに専用試薬）の積極的な拡販に注力してまいります。

第2四半期以降につきましては、2019年5月8日付「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」でお知らせしました第2四半期累計期間及び通期業績の予想は、変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	952,763	1,508,071
受取手形及び売掛金	1,214,674	1,174,620
商品及び製品	377,952	309,691
仕掛品	63,277	75,312
原材料及び貯蔵品	194,908	186,834
その他	26,855	22,276
流動資産合計	2,830,433	3,276,806
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	605,325	596,203
土地	1,797,439	1,797,439
その他（純額）	169,184	158,145
有形固定資産合計	2,571,949	2,551,788
無形固定資産	178,335	168,956
投資その他の資産	277,844	229,402
固定資産合計	3,028,128	2,950,147
資産合計	5,858,562	6,226,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	441,859	461,548
短期借入金	450,000	540,000
未払法人税等	104,190	8,200
賞与引当金	119,775	64,800
その他	544,161	478,847
流動負債合計	1,659,986	1,553,396
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
株式給付引当金	3,153	3,153
役員株式給付引当金	9,406	16,349
その他	50,619	104,961
固定負債合計	563,179	624,464
負債合計	2,223,165	2,177,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	2,598,018	2,513,881
自己株式	△764,706	△260,986
株主資本合計	3,593,459	4,013,042
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,937	36,050
評価・換算差額等合計	41,937	36,050
純資産合計	3,635,396	4,049,092
負債純資産合計	5,858,562	6,226,953

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,178,330	1,091,342
売上原価	580,859	579,732
売上総利益	597,470	511,609
販売費及び一般管理費	399,163	424,023
営業利益	198,306	87,585
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,147	3,140
為替差益	1,940	871
その他	489	25
営業外収益合計	5,577	4,037
営業外費用		
支払利息	2,201	1,969
手形売却損	154	146
その他	215	213
営業外費用合計	2,571	2,329
経常利益	201,312	89,294
特別利益		
固定資産売却益	94	—
特別利益合計	94	—
特別損失		
固定資産除却損	1,217	—
特別損失合計	1,217	—
税引前四半期純利益	200,189	89,294
法人税、住民税及び事業税	29,733	3,023
法人税等調整額	32,600	42,300
法人税等合計	62,333	45,323
四半期純利益	137,856	43,970

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式490,000株の処分を行いました。この結果により、当第1四半期累計期間において自己株式が503,720千円減少し、当第1四半期会計期間末において自己株式が260,986千円となっております。